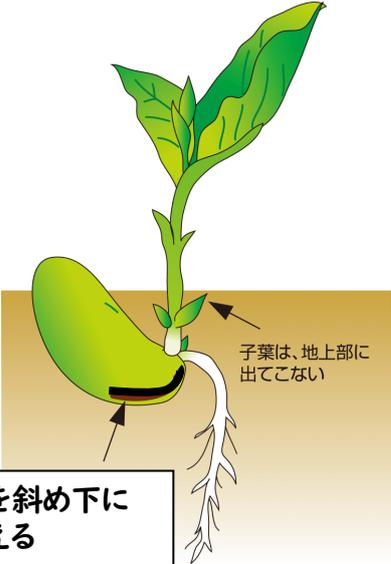
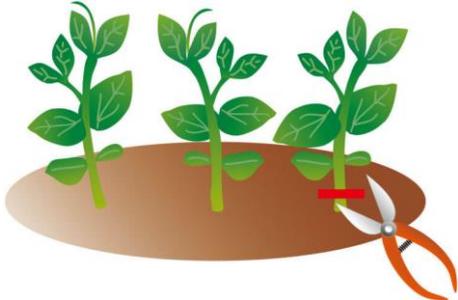


秋冬野菜の育て方

ソラマメ(マメ科)

播種の時期	10月後半から11月中旬
育苗用土	一般的な野菜用土で十分です。 中性に近い土を好むので 石灰は多い目 に施します。 7.5-9cmポットに土を入れて種子を播きます。直まきでも良いです。
播種時の注意	<p>オハグロ部を下にして縦に2/3くらいを土に埋める。 播種直後にたっぷりと水をやり、その後は発芽するまで水やりを控えます。</p> 
播種後の管理	日当たりの良いところに置き、発芽後は鉢土が乾いたら水をやります。 鳥害 に気をつけます。
定植の準備	<p>定植2週間前 苦土石灰 150g/m²をすき込む 定植1週間前 完熟堆肥 4L/m² 化成肥料(8-8-8)80g/m²をすき込む</p> <p>マメ類は根に根粒細菌が寄生して空中の窒素を固定し植物体が利用出来るので窒素肥料を少なめにします。 中性に近い土を好むので石灰は多い目に施します。 連作障害がきつい→連作を避ける(5年以上) 多湿を嫌う→高畝等の対策をとる。</p>
定植	<p>本葉が2-3枚の頃(11月中旬~下旬)。 種子から伸びている直根を傷めない様に気をつける。 株間は40cm程度とし、密植しない。</p>
定植後の管理	<p>定植後はたっぷりと水をやります。その後も土が乾いたら水をやります。 3月上中旬に化成肥料を50g/m²程度追肥します。</p>
病気	アブラムシにより媒介されるウイルス病、赤色斑点病など。 発生後の防除は困難です。
害虫	<p>アブラムシ(3月以降) 発見したら直ぐに薬剤を散布する。新芽に寄生しやすいので、茎が80cmくらいまで伸びたら茎の先端の新芽部を摘み取る。</p>

エンドウ(マメ科)

種まき時期	10月中旬から11月中旬	
場所	連作にならないところ(最低でも3-4年マメ科を植えていない所) ※マメ科は連作障害がきつい 排水と日当たりが良いこと 風に弱いため支柱が必要 元肥の多肥は厳禁	
土の準備	種まき2週間前 種まき1週間前	苦土石灰:150g/m ² (適正pHは6.0前後) 化成肥料(8-8-8):60g/m ² 牛糞堆肥:4L/m ² 畝を作る
種まき	15~20cm 間隔に深さ3cmのまき穴を作り、そこに3~4粒の種子を埋め込み覆土をします。 播種から5-6日後から発芽し、発芽後誘引ネットを張ります。 本葉が2枚くらいまでに1~2本に間引きします。 生育のよいものを残し、そのほかの株は根元をハサミで切り取ります。	
追肥	種まきから1か月後と開花前	化成肥料(8-8-8):30g/m ²
その他	土の乾燥と寒い風を防ぐため、苗の付近に稲わら等を敷くと生育が良くなります。 ・本葉2-3枚の 때가最も耐寒性が強く、マイナス5度前後の気温に耐えられます。 早植えて大きくなると耐寒性が下がり、越冬できなくなります。	
収穫	サヤエンドウ	開花から約2週間 実エンドウ :開花から約4週間

カブ(アブラナ科)

播種の時期	9月上旬から10月上旬まで
育苗用土	播種15日前:苦土石灰 100g/m ² を畑に施し深さ20cmまで耕耘 播種7日前:化成肥料(8-8-8)を 100g/m ² 、 醗酵牛糞を 2L/m ² を耕耘 幅90cm、高さ20cmの畝を作る
播種時の注意	条間20cmでの2条でおおよそ1cm間隔に種を播く
播種後の管理	間引き:本葉が3枚、及び5枚の時 (この時にする土寄せがカブの肥大に重要) ※ハサミで株元から除去 (手で根から抜くと隣りの株の根を痛めるため) <1回目の間引き=発芽後20日頃の本葉3枚時> 株間を5cm(中カブの場合)にし、土寄せをする 同時に追肥:化成肥料(8-8-8)を 10g/m ² 害虫対策をする場合は、オルトラン粒剤を 4g/m ² 施す たっぷり灌水する 注)オルトランのカブに対する使用基準 使用量:1回 使用時期:収穫21日前まで 総使用回数:1回 <2回目間引き=本葉5-6枚時> 株間を15cm(中カブの場合)にし、2回目の土寄せをする 生育が思わしくない時は、500倍の液肥を追肥する
病	気 アブラナ科のネコブ病
害	虫 コナガ、ヨトウムシ

簡単な施肥量の計り方

堆肥	スコップ1杯	約2kg
苦土石灰	1握り	約40g
化成肥料	1握り	約30g
(その他)	1つまみ	約2g

10月以降の管理作業

野菜名	栽培管理作業
ダイコン	<p>間引き</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本葉が2-3枚の時:2-3株に間引き 同時に速効性化成肥料(8-8-8)を 50g/m²程度追肥 2. 本葉が5-6枚になれば1か所に1株 同時に速効性化成肥料(8-8-8)を 50g/m²程度追肥<u>土寄せ</u> <p>※アブラムシ対策 モザイク病の原因になるウイルスを運んできます。 繁殖力が強く急速に増えます。 予防:銀テープ等キラキラするものを周囲に張る。 防除:アブリーセーフ(原料は天然由来成分のヤシ油)を希釈して噴霧する。 効果を出すためには、少なくとも1-2日ごとに数回施用すること。</p>
ブリッコリー	<p>追肥</p> <p>定植後1週間頃:化成肥料(8-8-8)を80g/m²程度 定植後1か月頃:化成肥料(8-8-8)を80g/m²程度 下葉を大きく、茎を太くなるように育てます。</p>
共通	<p><害虫></p> <p>シンクイムシ(ハイマダラノメイガ) 幼虫が芽の中心部の柔らかい部分を食べる。 被害がひどいと新しい葉が展開できなくなり、 ダイコン:根が十分に肥大しない ハクサイやキャベツ:結球しない などにより収穫は望めません。</p> <p>対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防虫ネットをかける ・登録のある農薬を定期的に散布する